



KIFA
Plaza

かわら版

発行日:平成15年12月20日

発行:鎌ヶ谷市国際交流協会
〒273-0195 鎌ヶ谷市初富928-744
TEL 047-445-1141 (内線550)
FAX 047-441-9400

2003年 KIFA PARTY 特集

14ヵ国49名の外国人を迎えて、楽しいパーティーを開催



舞台のアトラクションを楽しむ参加者の皆さん



岡本会長



我孫子協会代表



清水市長

今年も11月23日(日)、午後1時からKIFA PARTYが在住外国人や会員など多数の来場者を迎えて始まった。

来場者は在住外国人が14ヵ国(中国、フィリピン、スリランカ、バングラデシュ、パキスタン、イラン、米国、カナダ、ブラジル、ペルー、コロンビア、イギリス、ドイツ、イタリア)49名の参加を含めて、総勢205名となった。

総合司会を担当する部会員の有田容子さん、和田守正さんの進行で、岡本靖子KIFA会長の開会の挨拶に続き、来賓として

清水聖士市長、平原俊雄市議会議員より祝辞があった。また近隣の国際交流協会から船橋、我孫子、野田、流山各2名の方々の参加を迎えた。

続いて、例年参加8ヵ国のブースに出店している外国人の方々より日本語を交えたショートスピーチが行われ、来場者よりこれから始まる楽しいパーティーへの期待を込めた大きな拍手がわきあがった。

《料理担当 H.Yから》

白いテーブルクロス、中央に赤いテーブルセンターが敷かれたテーブルにところ狭しと並べられた料理の数々。見栄えのするオードブルに食べやすい串料理。フルーツの盛合わせは食欲をそそりそう。

人気の煮物は各テーブル2皿用意しました。可愛い陶器のカップに生けられたテーブル花が一層料理を引き立てています。セッティング終了。→



→「お料理は如何ですか」「お味は?」と何人かの参加者にお聞きしてみました。
「美味しいですね」「とっても満足です」「うん、美味しいよ」との参加者の声に、皆様喜んでいただけたかなと料理担当の一人としてホッと致しました。

例年通り、参加者数が未定の時期から相見積りを取りよせ業者を選定することから料理担当の仕事がスタートしました。限られた予算の中で、参加者が多くなった時にも十分満

足していただけるボリュームであること、外国の方にも喜んでいただける料理であること等、料理の選定は楽しくもあり、また一番悩むところでもありました。

幸いにも、料理をお願いした業者は、例年のKIFAパーティの様子、内容を私共以上に把握していただき、とても心強いアドバイザーとしてご協力をいただきました。

また、飲み物類を冷たく美味しく味わっていただけるようにとご配慮下さいました酒店にもここに改めて感謝申し上げます。

国際色豊かな外国紹介ブースは終始盛況

各国のブース



フィリピン



カナダ



スリランカ



ペルー



ドイツ



中国

《ブース担当 Y.Hから》

今年のKIFAパーティではフィリピン、カナダ、スリランカ、ペルー、中国、イタリア、ドイツ、日本語教室の8ブースが紹介されました。

各ブースの方々が何時間も前から来て、準備し民族衣装を着てその国の小物、飲食物、歴史に関する物の展示、販売等をしたり、それぞれの国の特徴を生かしたとても楽しいブースでした。

また、ショートスピーチということでご自己紹介をお願いしたところ、こころよく引き受けてくださり、日本語で話していただいたことに対しても、とても親しみを感じさせられました。

今年は子どもたちが各ブースの方とその国のことばでお互いに挨拶をかわしシールを集めるという新企画(スタン

プラリー)を取り入れ、ブースの人も大忙し。時間もアッという間に過ぎ、終わる頃にはゲストの方からもブースの方からもとても楽しかったということばをもらい、ブース担当者としてもとてもうれしく思いました。

このKIFAブースを見た外国人の方々の中に「私もブースを出させて」という方がいらしたら、今からどしどしKIFA事務局に連絡ください。あなたにとってきっと来年もますます楽しいパーティになることでしょう。

外国語で挨拶しよう・子どもたちの「スタンプラリー」



親子で参加



イランのお嬢ちゃん



スタッフも応援



スタッフの位置を示すマーク

《スタンプラリー担当 M.Hから》

10月から全5回で行われた子ども英会話教室『スマイリーキッズ』の子どもたちを含め30人の子どもたちがスタンプラリーに参加しました。

パスポートを持って全8カ国のブースを廻りそれぞれのお国の言葉でご挨拶! 市長にも「Hello! My name is~!」と英語でご挨拶。小さな子どもたちはシールを貼ってもらい、ゴールのご褒美にKIFAのクリップをもらって大喜びでした。

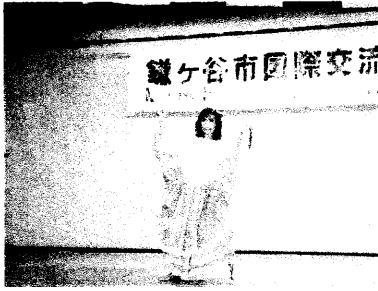
一緒にブースを廻ったのがきっかけで、外国人のお子さんとしゃべり回っている子もいました。参加したある中学生は「おばあちゃんに誘われて来てみたけど思ったより楽しかった。英語を話せるようになりたい。頑張ります」。スマイリーキッズに参加した子どもたちは「習った英語が通じた」と笑顔いっぱい。

ご家族全員で参加された方は「去年も家族で参加しましたがこのような企画はありませんでした。今年は子どもたちがスタンプラリーに参加できて良かったです。これからも続けてください」とのことでした。

子どもたちがスタンプラリーを通じて色々な国に興味を持ち、外国について知りたい・学びたいと思うきっかけになってくれると嬉しいですね。

	KIFA Kids Passport 外国の各ブースを廻って、外国の人と挨拶できたらシールを星印の所に貼ってもらいます。	KIFA パスポート
--	---	--------------------------

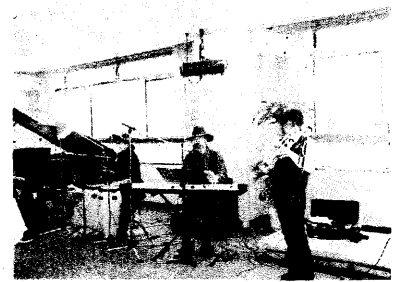
楽しいアトラクションに時間も忘れて...



コロンビア
の踊り



子どもたちの
和太鼓演奏



『そねそねくらぶ』
のJAZZ演奏

ブレイクダンス
→



サルサダンス
←

《舞台担当 S.Kから》

KIFA PARTY当日は快晴に恵まれ、会場には開催時刻前から多くの会員や市民と外国人の方がつめかけた。

前回までは大人が中心のKIFA PARTYであったが、今年度は何とか親子連れで子どもたちも楽しくパーティに参加できるようにと、企画段階から外国人の方たちの踊りや演奏のほかに子どもたちが多く出演するアトラクションを加え、今回は市子連（鎌ヶ谷市子ども会育成会連絡協議会）太鼓グループの協力を得て実現できた。

総合司会からオープニングイベントが一段落すると、アトラクションの司会にバトンタッチをされて、少し緊張しながらも司会の徳田正子さんからプログラムに沿って出演者の紹介が行われた。

アトラクションと並行してスマイリーキッズたちや会場の子どもたちも参加した「スタンプラリー」も行われた。

当日のアトラクションは、外国人の方々の参加が3グループ、日本人の方たちの参加が3グループであった。

アトラクションの最初は、フリオさんによる『コンドルは飛んでいく』などペルーの民族音楽をケーナ（縦笛）で演奏してくれた。

ついで今回はじめての出演となる市子連「太鼓グループ」の子どもたち17名による和太鼓演奏が続いた。小学生や幼稚園児のそろいのハッピーにきりりと鉢巻を締めて、「ソーレ」の掛け声を合図に勇壮な和太鼓の音が会場内に広がった。

会場の参加者はもとより、子どもたちに付き添ってこられた親御さんたちも、可愛い子どもたちの太鼓演奏を熱心に見ておられた。

続いて、今回特別に演奏をお願いした『そねそねくらぶ』の曾根さんご家族によるJAZZ演奏が行われた。

（曾根さん一家は老人ホームや小中学校を訪問し、JAZZ演奏のボランティア活動を行っておられます）中学生の息子さんのトランペットを中心にピアノ、エレクトーン、パーカッションの構成で、皆がよく知っている『聖者の行進』などJAZZの演奏がなされた。

しばし歓談の後、KIFAでスペイン語の講師をしておられるコロンビアのパトリシア岡田さんによって、軽快なラテン音楽に合わせて民族舞踊が披露された。

次は、『若風会』大竹さんほか7名の皆さんによる日本民謡の踊りが披露された。会場内からは出演者の踊りの仕草に合わせて身体を動かす参加者もおられて、和やかな雰囲気を感じられた。

続いて、日本の若者による「ブレイクダンス」の基本的なステップの説明と、エネルギッシュなダンスが若者3名によって行われた。時間的には短い6分程度であったが演技の後、出演した若者たちは汗だくだった。

アトラクションの最後に、アメリカのアレン・ウッドマンさんと日本人女性のペアーで「サルサダンス」の基本ステップの説明と、その後ラテン音楽に合わせての踊り。アレンさんの呼びかけで会場内からも舞台に上がってサルサダンスを一緒に楽しむ会員が大勢いて会場は盛り上った。

サルサの踊りにまだ満足しないのか、会員の中から持参のCDをかけてダンスタイムを延長するハプニングもあった。

アトラクションも終了してKIFAパーティの残り時間も少なくなり、最後に『そねそねくらぶ』の伴奏とリードで会場にいる全員で『大きな古時計』『今日の日はさようなら』などを合唱してパーティの余韻を楽しんだ。

締めくくりは根岸部会長による閉会の挨拶で、アッという間に3時間余りのパーティは閉会を迎えた。



《KIFAパーティーの感想 T.T & H.S》

一般にパーティでは初めての人などは話し相手がなくて、なかなか会話に入れないのですが、テーブルごとの自己紹介がありその後は隣同士や外国人ともよく会話ができました。

時間は少し長いかなと最初は思いましたが、音楽あり踊りありであり長く感じませんでした。スタンプラリーも好評でブース担当の方もよく子どもたちに話しかけ微笑ましい情景でした。

3歳位の可愛いお嬢さんを連れて毎年参加されるイラン人夫妻は、ダンス時間をいつも楽しみにされているようです。「とにかく英語でたくさんお喋りをしたい」という25歳のお嬢さんはお父さんと一緒に参加してくれました。カナダのブースで楽しくお話が出来て、カナダ国旗のピンバッチもプレゼントしてもらって大変満足していました。

恒例のKIFA PARTYも今回の「スタンプラリー」など、新しい企画をどしどし取り入れて、参加される外国人の方にも、また会員や一般市民の方にとっても、パーティーに参加して楽しかったと思われる工夫が必要だと感じました。

子ども英会話 スマイリーキッズ の初体験



挨拶の仕方を教える先生



増田千佳先生と子どもたち



遊びながら英語を学ぶ



アネッテ先生と子どもたち



KIFA PARTYで
清水市長と話す
子ども英会話の
お母さん



KIFA PARTYで
市長に話しかける
子どもたち

去る10月18日から11月15日の毎週土曜日、中央公民館にて子ども英語会話「スマイリーキッズ」が開催された。対象は小学校3年生から6年生まで16名の参加で、そのうち3年生が7名と最も多かった。講師はアメリカに留学経験のある増田千佳さんと、英語にも堪能なドイツのアネッテ・植松さん。お二人とも英語教育に経験豊富で、うってつけの方々である。

初回は増田先生の元気な「Hello, every one!」から始まった。1時間目は3年生のクラスだ。2時間目は4～6年生のクラス。生徒一人一人に英語の名前がつけられ、教室内ではできるだけ日本語を使わないことになった。生徒たちは馴れていないせいもあってか先生の元気いっばいの声に比べみな声が小さい。

それでも、英語体操やビートルズの『Say hello goodbye!』の歌を歌っているうちに気分がほぐれ、少しずつ元気を回復。

2回、3回と回が進むにつれてクラスはかなり打ち解け、お互いに話を交わすようになってきた。学習はゲームの要素を多く取り入れているので、楽しい雰囲気の中で英語を覚えていく。発音も先生の音をそのまま真似るので、なかなか上手だ。子どもたちの素直さ、吸収力のすばらしさに改めて感心。

4回目からは先生がアネッテさんに交代。意識的に日本語の使用を控えめにしたため、当初は質問されても内容が理解できず戸惑いを見せる子もいた。しかし、繰り返しと身ぶり手ぶりにより次第に理解し答えられるようになるから大したものだ。いちいち日本語に訳さず、英語を直接理解する、これが本来の言語習得方法であろう。

全部で5回、1ヵ月間の短い学習会であったが、ゲームや歌、運動などを取り入れリラックスした雰囲気の中、子どもたちはのびのびと学んでいた。

《子ども英会話リポート 1.0》

☆ 協会行事のお知らせ ☆

家庭料理教室の開催

開催日：1月25日（日）

時間：10時～14時

定員：各コース16名

（合計32名、先着順）

場所：南部公民館

外国料理：イタリア料理か

中国料理のいずれか選んで

お申込み下さい。（会費有料）

語学体験講座のご案内（各講座5名以内）

語学講座の体験学習会を下記日程で開催します。

1/21（水）スペイン語 くぬぎ山

コミュニティーセンター 19:30～21:00

1/22（木）英語・初級 東初富公民館 19:30～21:00

1/23（金）英語・初級 南部公民館 10:00～11:30

1/24（土）中国語 中央公民館 19:15～20:45

1/27（火）日本語 中央公民館 20:30～21:00

事務局からお知らせ

年末・年始のお休み

12月26日（金）

～1月5日（月）